

名古屋市様 連携事例

介護施設での コミュニケーションロボット実証実験

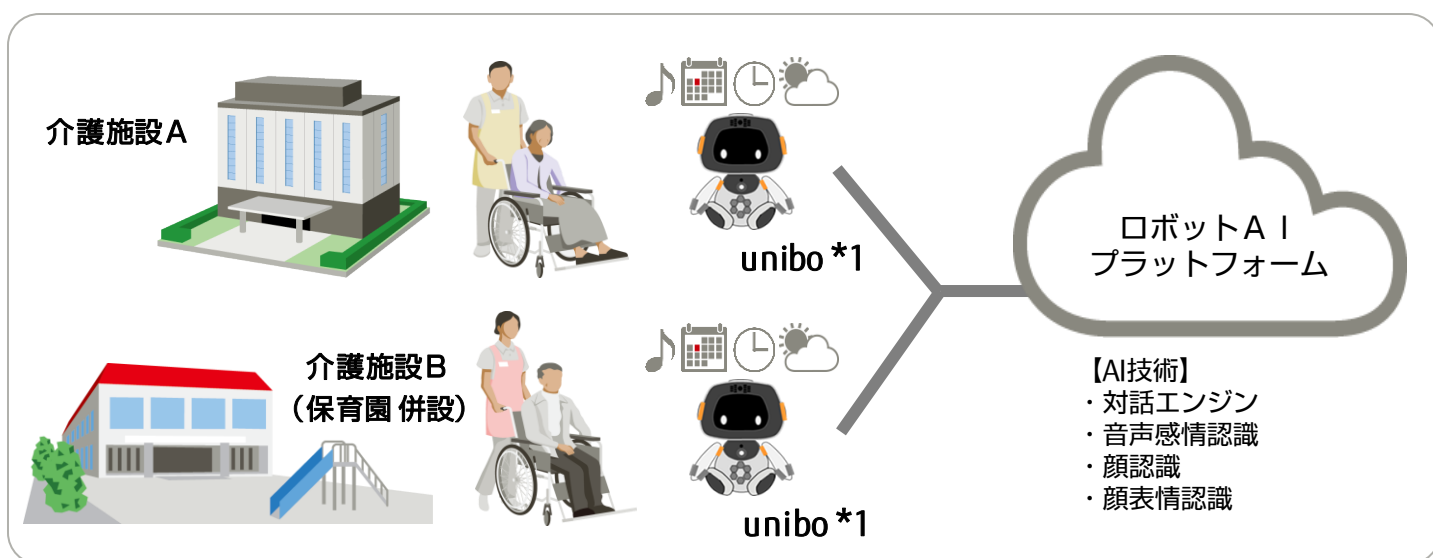
unibo×ロボットA Iプラットフォーム×介護ソリューション

課題と効果

- 課題：介護スタッフの負荷軽減と、入居者へのさらなるサービスの向上の両立
- 効果：介護スタッフと入居者との交流機会を増やし、施設の雰囲気向上に寄与

システム概要

ロボットを通じた介護現場への貢献を目的として、介護ソリューションを実装したロボットを介護施設に設置し、有効性検証を行いました。ロボットは入居者の楽しみとしてのみならず、介護スタッフと入居者との“距離を縮める”存在として価値を確認しております。さらなるアプリケーションの開発を進め、介護の質のさらなる向上と、介護スタッフの負荷軽減、自治体の介護保険費の抑制を目指します。



名古屋市様及び公益財団法人名古屋産業振興公社様が主催する「医療介護ものづくり研究会」の、研究分科会(研究開発プロジェクト)における取り組み

稼働環境

- デバイス : ユニロボット株式会社製 コミュニケーションロボット・unibo
- システム基盤 : ロボットA Iプラットフォーム
- アプリケーション : 介護ソリューション

*1：uniboは、ユニロボット社の商標または、登録商標です

商品・サービスについてのお問い合わせは
富士通Japan株式会社 お客様総合センター 0120-835-554 受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)